

時 評 創造する力…………… 静岡大学 福原長寿……733

座談会 大企業におけるイノベーションの生み出し方（下）……734

Japan Innovation Network 仙石太郎, NTT データ 西村祐哉,
ヤマハ 北瀬聖光, 早稲田大学 清水 洋,
Japan Innovation Network 紺野 登, 住友化学 木全修一,
ENEOS ホールディングス 平野智久

大型商船への「帆」搭載—地球の未来に、風で挑む—

……………商船三井 垣内隆太郎……748

商船三井が取り組む風力推進補助装置「ウインドチャレンジャー」の開発について、プロジェクトの歴史、硬翼帆の特徴、実船への搭載と、今後の展望について紹介した。

国際エネルギー機関による将来シナリオの変化

……………電源開発 中山寿美枝……755

国際エネルギー機関の World Energy Outlook の過去 15 年間の中心シナリオ（世界）を比較して、過去から大きく変化していること、地域別の分析により中国のシナリオの劇的な変化がその要因であることを確認した。

海外でのバイオエタノールの導入状況

……………日本環境エネルギー開発 澤 一誠・岸岡三春……761

世界各国（米国・ブラジル・EU・アジア等）のバイオエタノールの導入状況や消費・生産・輸出入動向を整理し、日本の E10・E20 導入拡大や SAF 製造に向けた参考情報としてまとめた。

製油所の共処理における石油製品への低炭素基材の
混合割合（試算）……………エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ 曾我正美……773

わが国の製油所で「原油に加え、低炭素基材（低硫黄減圧軽油相当品を想定）を処理する場合」の石油製品カーボンニュートラル化の可能性を探った。

石油開発と CCS をつなぐジオメカニクス

……………石油資源開発 柏原功治……778

地層の変形や破壊を予測するための技術体系であるジオメカニクスが、CCS の分野で関心を集めている。ジオメカニクスの基礎とともに石油開発分野での利用場面を振り返り、CCS への貢献について考察した。

本誌の内容・企画に関してご意見・ご要望を E-mail (book@sekiyu-gakkai.or.jp) でお寄せください。

メタンの排出対策と利用技術 (第8回)

Pt/Al₂O₃ 触媒によるメタン脱水素カップリング反応

—水素添加効果と活性点の構造評価— 埼玉大学 萩原仁志.....788

Pt/Al₂O₃ を用いたメタン脱水素カップリングで、水素共存がコーク生成を抑制し、安定した C2 炭化水素生成を可能にすることを示した。さらに、この反応には Pt 粒子サイズの影響があることも明らかにした。

カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーに資する技術紹介

(3) カーボンニュートラルに貢献する「サブナノセラミック膜」 技術

..... 日本ガイシ 前原宗太.....793

石油・石油化学業界で身に付く・役立つおススメ資格 (第6回)

QC 検定をきっかけに向上させよう！

仕事の質と問題解決力 日本規格協会ソリューションズ 赤井澤 潤.....796

QC 検定は、品質管理の知識を体系的に学び、仕事の質と問題解決能力を高めるきっかけとなり、またキャリアアップや組織の生産性向上に貢献する資格である。概要をわかりやすく紹介した。

◆ 目次裏統計 ◆ わが国の石油諸税 目次裏

◆ 私の宝物自慢 ◆ カメラレンズ Elmarit 28mm f2.8, 南極の氷塊747

◆ 私事白書 ◆ 本当の SDGs とは 出光興産 小野祐輝.....772

◆ 讃嘆石油史！ ◆ オイルメン物語 エピローグ 承前 沙外白雲.....787

◆ エネルギー知ってるはず!? ◆ (130) 2030 年度の非化石電源比率
—日本が石炭火力を活用し続ける理由—801

学会の窓802

第 48 巻索引巻末

会告巻末